頁 IF. 誤 II -2-2-7 DD113902031 DD113902031 2-2-10 アスファルト舗装工(人力) 2-2-10 アスファルト舗装工(人力) 注釈の記載が抜けて いたため 表2-8 労務歩掛 1日・1層当たり 表2-8 労務歩掛 1日・1層当たり 仕上り厚 t (mm) 仕上り厚 t (mm) 名称 単位 車道及び路肩・歩道 名称 単位 車道及び路肩・歩道 t ≦50  $50 < t \le 70(100)$  $50 < t \le 70(100)$ t ≦50 世話役 世話役 人 人 1 1 1 特殊作業員 特殊作業員 IJ 3 3 普通作業員 IJ 普通作業員 4 4 4 4 注1. 1層当り仕上り厚 t の ( ) 書きは、瀝青安定処理路盤に適用する。 1日・1層当たり 表2-9 施工歩掛 D 1日・1層当たり 表2-9 施工歩掛 D 仕上り厚 t (mm) 仕上り厚 t (mm) 単位 単位 数量 数量 車道及び路肩・歩道 車道及び路肩・歩道  $m^2$ t ≦50  $m^2$ 250t ≦50 250 $50 < t \le 70(100)$  $50 < t \le 70(100)$ 230 230注1. 1層当り仕上り厚 t の ( ) 書きは、瀝青安定処理路盤に適用する。 表2-13 締固施工歩掛 1日・1層当たり 表2-13 締固施工歩掛 1 目・1 層当たり 仕上り厚 t (mm) 仕上り厚 t (mm) 単位 機種 規格 単位 車道及び路肩 歩道 機種 規格 車道及び路肩 歩道  $t \le 50 \mid 50 < t \le 70(100)$ t **≦5**0  $50 < t \le 70(100)$  $t \le 50 \mid 50 < t \le 70(100)$  $t \le 50 \mid 50 < t \le 70(100)$ ハンドガイド式 振動 ハンドガイド式 振動 台 1 1 1 1 ローラ  $0.5 \sim 0.6 t$ ローラ  $0.5 \sim 0.6 t$ 振動 振動  $40\sim60\mathrm{kg}$ 2  $40\sim60\mathrm{kg}$ 1 1 1 1 コンパクタ コンパクタ 注1. 1層当り仕上り厚tの()書きは、瀝青安定処理路盤に適用する。 表2-15 諸雑費率 表2-15 諸雜費率 仕上り厚 t (mm) 仕上り厚 t (mm) 歩車道区分 歩車道区分  $50 < t \le 70(100)$ t ≦50  $50 < t \le 70(100)$ t ≦50 車道及び路肩 車道及び路肩 17(6)15(6)17(6)15(6)歩道 19(7)歩道 19(7)16(6)16(6)注1. 諸雑費は、瀝青材料(プライムコート・タックコート)の散布、舗装用器具、補助機械及び型枠 注1. 諸雑費は、瀝青材料(プライムコート・タックコート)の散布、舗装用器具、補助機械及び型枠 材料、加熱燃料材等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた 材料、加熱燃料材等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた 金額を上限として計上する。 金額を上限として計上する。 注2. 瀝青材料は、諸雑費率に含まないので別途計上する。 注2. 瀝青材料は、諸雑費率に含まないので別途計上する。 注3. 瀝青材料の散布を行わない場合は、()内の数値を使用する。 注3. 瀝青材料の散布を行わない場合は、()内の数値を使用する。 注4. 1層当り仕上り厚 t の ( ) 書きは、瀝青安定処理路盤に適用する。